

防災安全分野のキャリアプラン

分 野	防災安全分野
職務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理・国民保護に関すること。 ・防災対策の総合的な企画調整及び推進に関すること。 ・国土強靱化に関する施策の総合的な企画調整及び推進に関すること。 ・防災思想の普及啓発に関すること。 ・防災拠点の整備・運用に関すること。 ・地震災害、風水害、石油コンビナート災害その他の災害の対策に関すること。 ・市町村の防災対策に関する助言、連絡調整等に関すること。 ・市町村の消防に関する助言、連絡調整等に関すること。 ・県及び市町村の防災を担う人材の育成に関すること。 <p style="text-align: right;">等</p>
主な配属先	・防災危機管理課、災害対策課、消防保安課
め ざ す 職 員 像	高い調整能力と計画立案力、創造性を有し、災害発生時には、諸問題に対し迅速に関係者と調整し解決する能力、柔軟性を備える職員
育成の考え方	
<p><主事級（ジョブローテーション期間）> 【職員としての基礎固め】 ジョブローテーション期間中に、本庁や地方機関において企画や許認可業務、内部管理を始め様々な業務を経験し、県の仕事の全体像を把握するとともに、県職員として必要な業務処理能力を着実に身につける。</p> <p><主事級（ジョブローテーション期間終了後）～主任級> 【現場を知りさらに能力を高める】 地方機関において、管轄市町村等との調整や支援、災害対策本部方面本部における業務を通じ、現場性、現地即応性に係る知識や迅速な処理能力を身に付ける。 地方機関での経験をもとに、本庁において事業立案や補助金交付業務等に従事し、県全体をより広い視野で見渡す経験を積み、企画力、調整能力を高めていく。</p> <p><主査級・課長補佐級> 【より高度な能力を身に付け、グループの要として調整能力を高める】 県地域防災計画等の基本計画の策定や修正、防災訓練業務等の局の中心的な防災安全施策や、主管課における予算・人事、議会等の内部管理に筆頭担当として従事し、より高度な企画力、調整能力、交渉力を身につける。 また、グループの中心的な立場として、困難な課題の解決や国との調整等、より高度な業務に取り組むとともに、部下職員に対する指導や助言等、今後必要とされる調整能力を高める。</p> <p><課長補佐級（班長）> 【グループマネジメント力の発揮】 これまでに習得した知識・経験・能力等を活かすことができる防災安全分野の各グループ班長として、組織力、マネジメント力を発揮して業務を推進する。</p>	

《防災安全分野のキャリアイメージ》

区分	防災安全分野		キャリアプラン例①	キャリアプラン例②
	異動・配属の考え方	必要とされる知識・能力		
新採用 主事級 (採用後7年間)	【職員としての基礎固め】 □共通 ・複数の所属の業務に従事する中で、今後、職員としてキャリアを積んでいくための基礎力を身につける。 ・早期に本庁を経験し、県の仕事の全体像を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><ジョブローテーション期間中における、配属又は異動の考え方> 県の仕事の全体像を把握し、幅広い視野や知識・能力を習得するとともに適性を見出すため、採用後2回の異動で下記の①から③までの内容を経験できるよう計画的に異動を行う。</p> <p>① 複数の局を経験する。 ② 可能な限り、採用3年目までを目途に本庁を経験する。 ③ 3ヶ所の所属を経験する。 ※異なる職務分野を経験することを原則とする。</p> </div> ■分野特有 ・許認可業務に従事し、法令知識や解釈、県民/事業者対応の経験を積む。 ・防災啓発や各種訓練を通じて市町村との調整業務の経験を積む。	①仕事の正確さ ②積極性 ③規律 ④チームワーク ⑤法令解釈力 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 【期待される事務レベル】 ・許認可申請の処理、補正指示等 ・所属の支出、物品管理 ・議会参考資料、想定質問の作成 </div>	採用所属(本庁) 県立高校事務室 ・地方機関を経験 防災安全局防災部 消防保安課消防・広域化G ・消防事業を経験 省庁等派遣 ・国の防災対策事業を経験 防災安全局防災部 防災危機管理課 政策・企画G ・防災対策事業の立案を経験	採用所属(地方機関) 建設局下水道課 業務・経理G ・内部管理業務を経験 防災安全局防災部 災害対策課 市町村支援G ・補助金交付事業を経験 防災安全局防災部 消防保安課産業保安室 高圧ガスG ・許認可業務を経験
主事・主任級 (採用8年目から 主査級昇任まで)	【現場を知りさらに能力を高める】 □共通 ・ジョブローテーション期間中に身につけた基礎力を高め、新たに行う業務に応用する。 ・キャリアの軸が定まっていなかった場合は多様な業務を経験し、自分の適性を見出す。 ・キャリアの軸が定まった場合は、特定の業務に継続的に取り組み、自らの強みを形成する。 ・班長、主査等からの指示に基づいて幹部相談資料等の作成を行い、資料作成力や相談力を高める。 ■分野特有 ・地方機関において、管轄市町村等との調整や支援、災害対策本部方面本部における業務を通じ、現場性、現地即応性に係る知識や迅速な処理能力を身に付ける。 ・地方機関での経験をもとに、本庁において事業立案や補助金交付業務等に従事し、県全体をより広い視野で見渡す経験を積み、企画力、調整能力を高める。 ・国や関係団体(市町村含む)への派遣を経験する。	①判断力 ②創意工夫 ③責任感 ④後輩育成 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 【期待される事務レベル】 ・方面本部における研修や訓練の開催 ・補助金交付業務等における市町村等との調整、指導 ・議会参考資料、想定質問の総括 </div>	防災安全局防災部 防災危機管理課 政策・企画G ・防災対策事業の立案を経験 防災安全局防災部 防災危機管理課 総務・予算・広報G ・内部管理業務を経験	防災安全局防災部 消防保安課 消防・広域化G ・消防事業を経験 防災安全局防災部 防災危機管理課 啓発G ・啓発事業を経験
主査級 課長補佐級	【実務の要+グループ運営の補佐】 □共通 ・実務の要として、グループの主要業務を担う。 ・主体的に知事相談資料や議会答弁の作成を行い、説明力を高める。 ・キャリアの軸が定まっている場合は、新たな業務を経験し、キャリアの幅を広げる。 ・キャリアの軸が定まっていなかった場合は、特定の業務に継続的に取り組み、自らの強みを形成する。 ・1度経験した所属(業務)を再度経験し、当該業務の遂行能力を高める。 ・班長を補佐し、全体の調整役として、円滑なグループ運営に貢献する。 ・将来の管理的立場を見据え、高度な調整業務を経験する。 ■分野特有 ・県地域防災計画等の基本計画の策定や修正、防災訓練業務等の局の中心的な防災安全施策を経験し、企画力や調整能力を高める。 ・消防・広域化への取組等、県内消防本部と協力・協働して実施する事業を経験し、調整能力、交渉力を身につける。 ・国や関係団体(市町村含む)への派遣を経験する。	①改革・改善 ②説明・調整力 ③見識 ④使命感 ⑤人材育成力 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 【期待される事務レベル】 ・基本計画等の策定や修正 ・審議会等の外部有識者会議の開催 ・防災訓練等の企画・開催 ・予算要求資料の総括 ・知事相談・報告資料の作成 ・議会答弁作成 </div>	防災安全局防災部 防災危機管理課 総務・予算・広報G ・内部管理業務を経験 防災安全局防災部 災害対策課 災害対策G ・災害対応を経験	防災安全局防災部 消防保安課 消防・広域化G ・消防事業を経験 防災安全局防災部 防災危機管理課 啓発G ・啓発事業を経験 市町村派遣 ・市町村の防災対策事業を経験
課長補佐級 (グループ班長)	【グループマネジメント力の発揮】 ・これまでに習得した知識・経験・能力を活かせる防災安全分野の各グループ班長として、組織力を発揮して業務を推進する。	①調整・折衝力 ②情報収集・活用 ③リーダーシップ ④人材育成・指導力	防災安全局防災部 防災危機管理課 政策・企画G(班長) ・グループ班長を経験	防災安全局防災部 災害対策課 市町村支援G(班長) ・グループ班長を経験

ジョブローテーション

知識・能力を習得・発揮